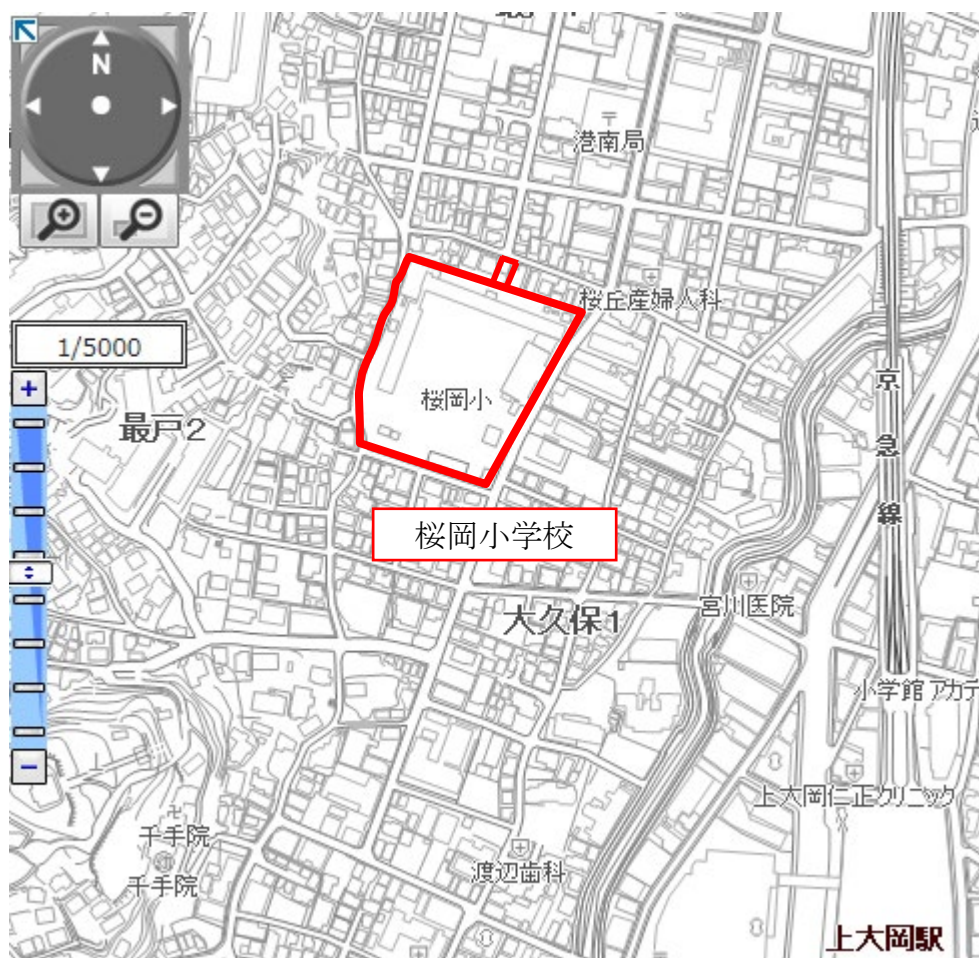


(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－1】学校施設の建替事業（桜岡小学校）		
	場所 (所在地)	港南区大久保一丁目6番43号		
	事業目的	桜岡小学校は校舎が古く老朽化しているため、建替えにより、教育環境の改善を図ります。		
	事業内容	桜岡小学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。		
		【既存施設の状況】(令和3年4月時点)		
		建設年度	昭和41年(1966年)	
		最古の棟の築年数	54年	
		屋内運動場築年数	50年	
		平均築年数	48.2年	
		種別		数量
普通教室		18教室		
個別支援教室		4教室		
多目的室		2教室		
音楽室や理科室等の特別教室		6教室		
その他職員室等の管理諸室・体育施設等				
面積(整備水準)の小計		約3,600㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)		約6,200㎡		
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約13,047㎡				
種別		数量		
普通教室		20教室		
個別支援教室		4教室		
特別支援教室		1教室		
多目的室		4教室		
音楽室や理科室等の特別教室		6教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等				
面積(整備水準)の小計		約4,900㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)※		約6,900㎡		
※存置するプール、放課後キッズクラブ棟を除く プール及び放課後キッズクラブ棟(キッズ)は築年数が浅いため、本事業では建替えを見送ることとし、適宜必要な改修等を行います。				

【位置図】



※横浜市行政地図情報提供 i マップより

事業  
スケジュール

R3～R6:基本構想、基本計画、基本設計、実施設計  
 R7～R11:新築工事、既存校舎解体工事等  
 R9:一部供用開始  
 R12:供用開始  
 ※今後、変更になる可能性があります。

総事業費  
(概算)

約 37.3 億円(うち補助約 5.4 億円)  
 ※R3 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。  
 ※四捨五入により、合計と一致しない場合があります。

項目	金額(税込)	内訳
設計等委託費	約 2.6 億円	—
工事費	約 30.0 億円	新築工事費約 27.8 億円、校庭整備工事費約 2.2 億円(仮設校舎設置なし)
解体費	約 4.7 億円	—

- ・平米単価は 36.4 万円(税抜)で試算。(平成 30 年度に事前評価を行い現在施工中の、汐見台小学校など3校の設計金額を基に、物価上昇率を見込み算出)
- ・校舎新築費:36.4 万円(税抜)×約 6,940m<sup>2</sup>×1.1=約 27.8 億円(税込)

事業の  
必要性

① 必要性

本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後 40 年以上経過しています。

そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成 29 年 5 月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成 30 年2月策定)」に基づき、計画的に建替えを行う必要があります。

桜岡小学校は、令和4年7月に教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議で、平均築年数が古いことから対象校に選定しました。

・事業費算出の根拠とした児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4 時点)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
児童数	524	544	535	547	552	575	596
学級数	18	18	18	18	18	19	20

(参考)

・児童数・学級数推計値(一般学級のみ)(R4.4 月時点)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
児童数	541	531	541	541	559	568	590
学級数	18	18	18	18	18	18	19

② 上位計画における位置付け

・横浜市中期4か年計画(2018～2021)

政策26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

・第3期横浜市教育振興基本計画(2018～2022)

柱9:安全・安心な環境 施策2:学校施設の計画的な建替えの推進

学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。

③ 適地性

桜岡小学校以外の敷地で、小学校の整備に必要な面積を確保できる市有地が近隣にないため、現敷地での整備としました。

<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について 本事業の実施により、適切な施設を整備しグラウンド面積を拡大することで、児童の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。</p> <p>② コスト削減の取組みについて 仮設校舎を設置しないプランを検討し、コスト削減を図ります。(学校関係者、地域の代表者への説明会でもその方向性について説明しています。)</p> <p>③ 防災面について 本校は地域防災拠点となるため、防災備蓄庫やヘリサインなどを、標準的に整備します。加えて、地域防災を担当する港南区役所と調整し、災害時の運用が円滑に行われるよう、新たに次の対応を行うこととしています。</p> <p>(1) 災害時に利用可能な蓄電池などの一部設備の導入</p> <p>(2) 新たに設置する体育館を、既存の災害用地下給水タンクや下水直結式仮設トイレとアクセスがよい位置に配置</p> <p>(3) 災害発生時等に児童が一斉移動する際の、事故や混乱が起きない動線の確保(基本設計に申し送り)</p> <p>今後は、設計段階に合わせ、関係区局や地域の見解を踏まえた具体的検討を順次進めます。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施 低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう設計を進めます。なお、設計の業者選定においても、環境負荷低減策を踏まえたイニシャルコスト削減を考慮している提案書を評価しています。</p> <p>② 木材の利用の促進 本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>学校関係者、地域の代表者へ事業説明会を行いました。</p> <p>説明会後は、各団体から「建替えを契機に解決したい地域課題」(書面提出)を募り、地域課題を踏まえた本市の考え方や建替えプラン案を資料送付しました。今後も、設計が進んだ段階で地域への説明会や資料共有を予定しています。</p> <p>説明会:令和3年10月30日(土)</p> <p>地域課題用紙募集期間:令和3年10月30日(土)~11月30日(火)</p> <p>回答・建替えプラン案送付:令和4年1月31日(月)</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式とします。</p>

添付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙1 校舎配置図</li> <li>・別紙2 ハザードマップ</li> <li>・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について（令和3年4月時点）</li> </ul>
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針（平成29年5月策定）</li> </ul> <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/gakko/tatekae/hoshin.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/gakko/tatekae/hoshin.html</a>
担当部署	教育委員会事務局教育施設課（TEL 045-671-3531）

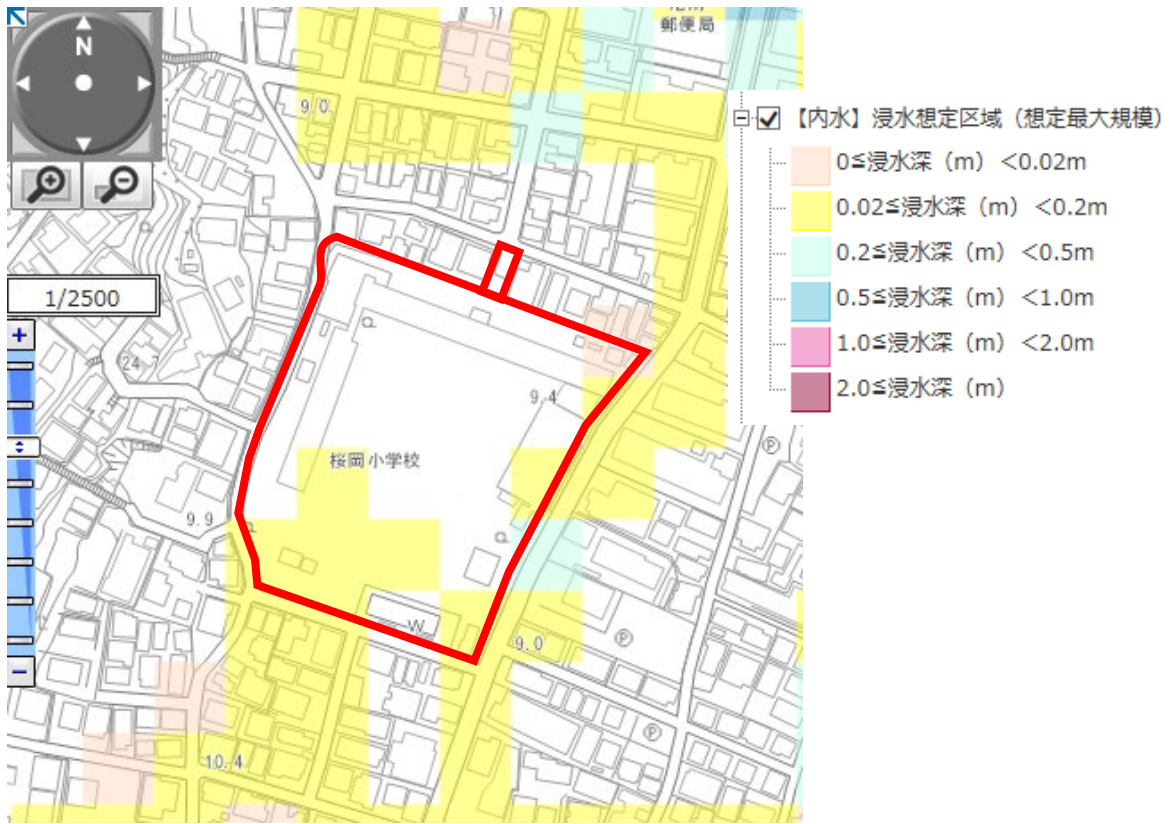
【桜岡小学校既存校舎配置図】



【整備イメージ図】



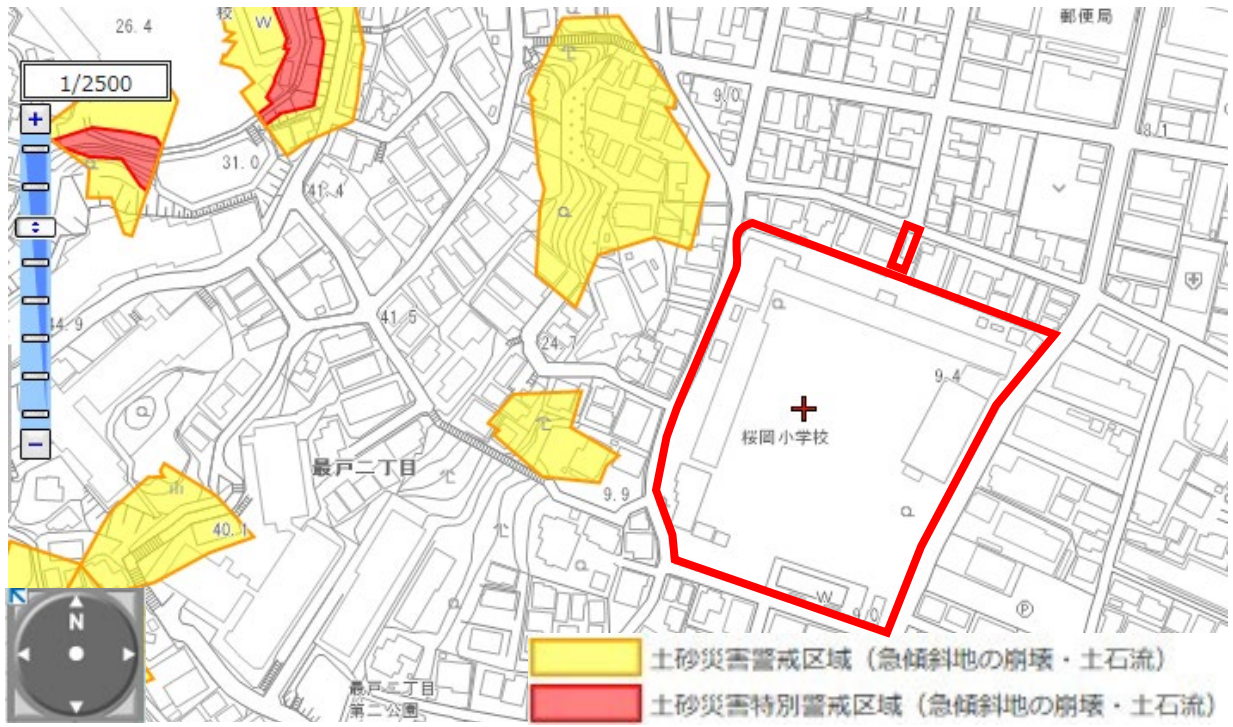
【内水ハザードマップ】 横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ（内水）より



【洪水ハザードマップ】 横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ（洪水）より



【土砂災害ハザードマップ】 横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (土砂災害) より








## 桜岡小学校の整備内容等について

種別	室名	整備水準(小学校20CR)		整備前		整備後(予定)	
		CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (63㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)
教室	1 普通教室	学級数		18.0	1134.0	20.0	1280.0
	2 個別支援教室	学級数		4.0	252.0	4.0	256.0
	3 特別支援教室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
特別教室	4 理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	5 音楽教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	6 家庭科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	7 図画工作教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0
	8 図書室	2.0	128.0	2.0	113.6	2.0	128.0
	9 コンピューター教室			1.0	62.0		
	10 教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
多目的室	11 多目的室(水廻り学習等)	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
	12 多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	0.0	0.0	2.0	128.0
	13 多目的室(少人数指導)	2.0	128.0	1.0	63.0	2.0	128.0
	14 多目的室(学校指定)	2.0	128.0	1.0	63.0	2.0	128.0
管理諸室	15 校長室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	16 職員室	2.5	160.0	2.0	126.0	2.5	160.0
	17 事務室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	18 保健室	1.0	64.0	1.0	63.0	1.0	64.0
	19 保健相談室・教材教具室②	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	20 放送・スタジオ室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	21 会議室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
	22 印刷室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	23 職員更衣室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	24 技術員室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0
	25 休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
	26 職員・来校者用玄関	0.5	32.0	0.2	13.5	0.5	32.0
	27 変電室	1.0	64.0	別棟		1.0	64.0
	28 教材教具室①	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0
	29 倉庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0
30 PTA会議室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
31 地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
その他	32 児童更衣室	1.0	64.0	0.0	0.0	1.0	64.0
	33 昇降口	2.0	128.0	3.0	212.5	2.0	128.0
	34 キッズ	適宜	適宜	別棟	別棟	別棟	別棟
	35 給食室		350.0		334.5		350.0
	36 EV		1基		0基		1基
	37 屋内運動場(アリーナ面積)		720.0		420.0		720.0
					約3,600		約4,900
その他	38 共用部(トイレ・廊下・階段等)		適宜		約2,600		約2,000
	39 プール(付帯施設面積)		適宜		30.3		30.3

※面積はおおよそになります。

-  …整備前から増加  
 …整備前から減少  
 …継続利用

(様式2)

公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	【教育－2】学校施設の建替事業（本郷中学校）	
	場所 (所在地)	栄区桂町84番地14	
	事業目的	本郷中学校は校舎が古く老朽化しているため、建替えにより、教育環境の改善を図ります。	
	事業内容	本郷中学校の老朽化対策として、現敷地内に新校舎棟を整備します。	
		【既存施設の状況】(令和3年4月時点)	
		建設年度	昭和36年(1961年)
		最古の棟の築年数	58年
		屋内運動場築年数	47年
		平均築年数	47.6年
		種別	
普通教室		12教室	
個別支援教室		2教室	
多目的室		3教室	
音楽室や理科室等の特別教室	13教室		
その他職員室等の管理諸室・体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約4,800㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)	約7,400㎡		
【新規整備内容(予定)】敷地面積:約19,510㎡			
種別		数量	
普通教室	10教室		
個別支援教室	2教室		
特別支援教室	1教室		
多目的室	3教室		
音楽室や理科室等の特別教室	9教室		
その他職員室等の管理諸室、体育施設等			
面積(整備水準)の小計	約4,400㎡		
総面積(廊下等の共用部込み)※	約6,500㎡		
※存置する武道場棟(プールを含む)を除く			
なお、武道場棟(プール含む)は築年数が浅いため、本事業では建替えを見送ることとし、適宜必要な改修等を行います。			

		<p>【位置図】</p>  <p>※横浜市行政地図情報提供 i マッピーより</p>												
<p>事業 スケジュール</p>		<p>R3～R6:基本構想、基本計画、基本設計、実施設計 R7～R9:新築工事、既存校舎解体工事等 R9:供用開始 ※今後、変更になる可能性があります。</p>												
<p>総事業費 (概算)</p>		<p>約 38.3 億円(うち国費約 4.2 億円) ※R3 年度算出。今後の精査により、変更が生じる場合があります。 ※四捨五入により、合計と一致しない場合があります。</p> <table border="1" data-bbox="510 1366 1396 1601"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額(税込)</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計等委託費</td> <td>約 2.6 億円</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>約 30.7 億円</td> <td>新築工事費約 26.0 億円(屋上緑化 0.06 億円含む)、校庭整備工事費約 4.0 億円、改修工事費約 0.7 億円</td> </tr> <tr> <td>解体費</td> <td>約 5.0 億円</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>・平米単価は 36.4 万円(税抜)で試算。(平成 30 年度に事前評価を行い現在施工中の、汐見台小学校など3校の設計金額を基に、物価上昇率を見込み算出) ・校舎新築費:36.4 万円(税抜)×約 6,490m<sup>2</sup>×1.1=約 26 億円(税込)</p>	項目	金額(税込)	内訳	設計等委託費	約 2.6 億円	—	工事費	約 30.7 億円	新築工事費約 26.0 億円(屋上緑化 0.06 億円含む)、校庭整備工事費約 4.0 億円、改修工事費約 0.7 億円	解体費	約 5.0 億円	—
項目	金額(税込)	内訳												
設計等委託費	約 2.6 億円	—												
工事費	約 30.7 億円	新築工事費約 26.0 億円(屋上緑化 0.06 億円含む)、校庭整備工事費約 4.0 億円、改修工事費約 0.7 億円												
解体費	約 5.0 億円	—												

事業の  
必要性

① 必要性

本市では、学齢期人口の急増に対応し、昭和 40 年代から 50 年代にかけて学校施設を集中的に整備してきたため、現状では5割以上の学校が築後 40 年以上経過しています。

そのため、「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針(平成 29 年 5 月策定)」及び「横浜市公共建築物の再編整備の方針(平成 30 年 2 月策定)」に基づき、計画的に建替えを行う必要があります。

本郷中学校は、令和 4 年 7 月に教育委員会事務局内で開催された建替対象校選定会議で、平均築年数が古いことから対象校に選定しました。

・事業費算出の根拠とした生徒数・学級数推計値(一般学級のみ)(R3.4 時点)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
生徒数	419	421	455	431	414	372	373
学級数	12	13	13	12	11	10	10

(参考)

・生徒数・学級数推計値(一般学級のみ)(R4.4 月時点)

	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
生徒数	426	465	443	426	376	382	381
学級数	12	13	13	13	11	11	11

② 上位計画における位置付け

・横浜市中期 4 か年計画(2018～2021)

政策 26:子どもたちの豊かな学びを育むための魅力ある学校づくり

「横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針」に基づき、各対象校の建替えが最善の形で進められるよう、建替えの実施に必要な基本構想や設計を進め、工事に着手します。

・第 3 期横浜市教育振興基本計画(2018～2022)

柱 9:安全・安心な環境 施策 2:学校施設の計画的な建替えの推進

学校施設の建替えの実施に向けて、国費の導入に必要な調査等を実施します。また、新しい学習内容を柔軟に取り入れられるように配慮しながら、長期的な視野を持ち、学校関係者や地域の方の意見を踏まえて、建替えを進めます。

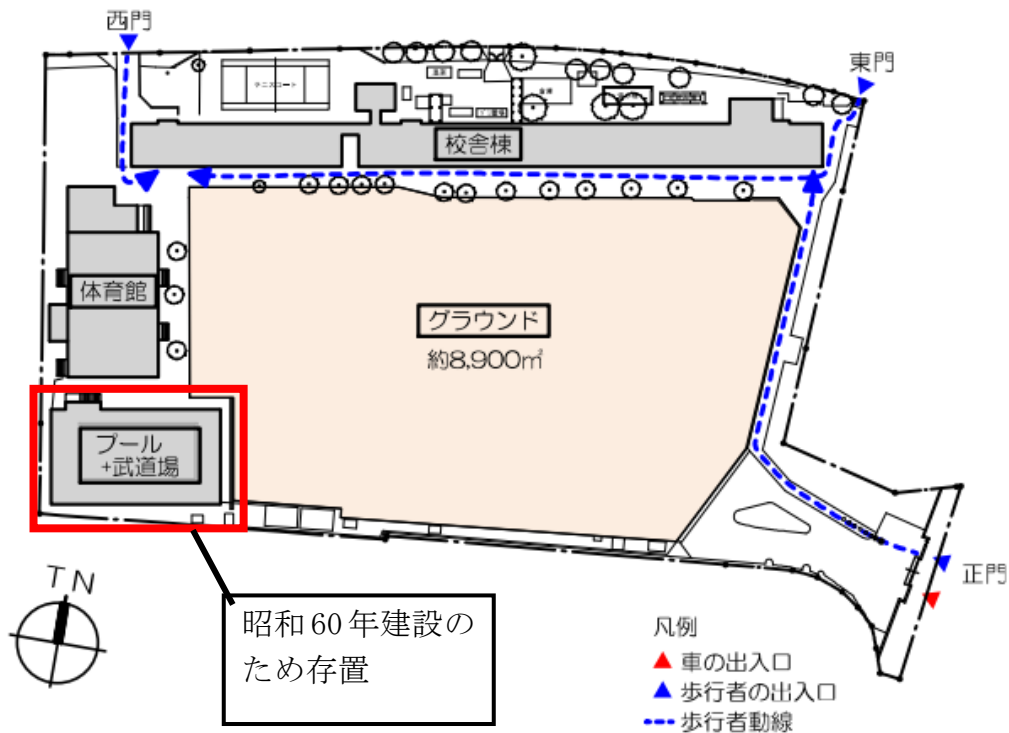
③ 適地性

本郷中学校以外の敷地で、中学校の整備に必要な面積を確保できる市有地  
が近隣にないため、現敷地での整備としました。

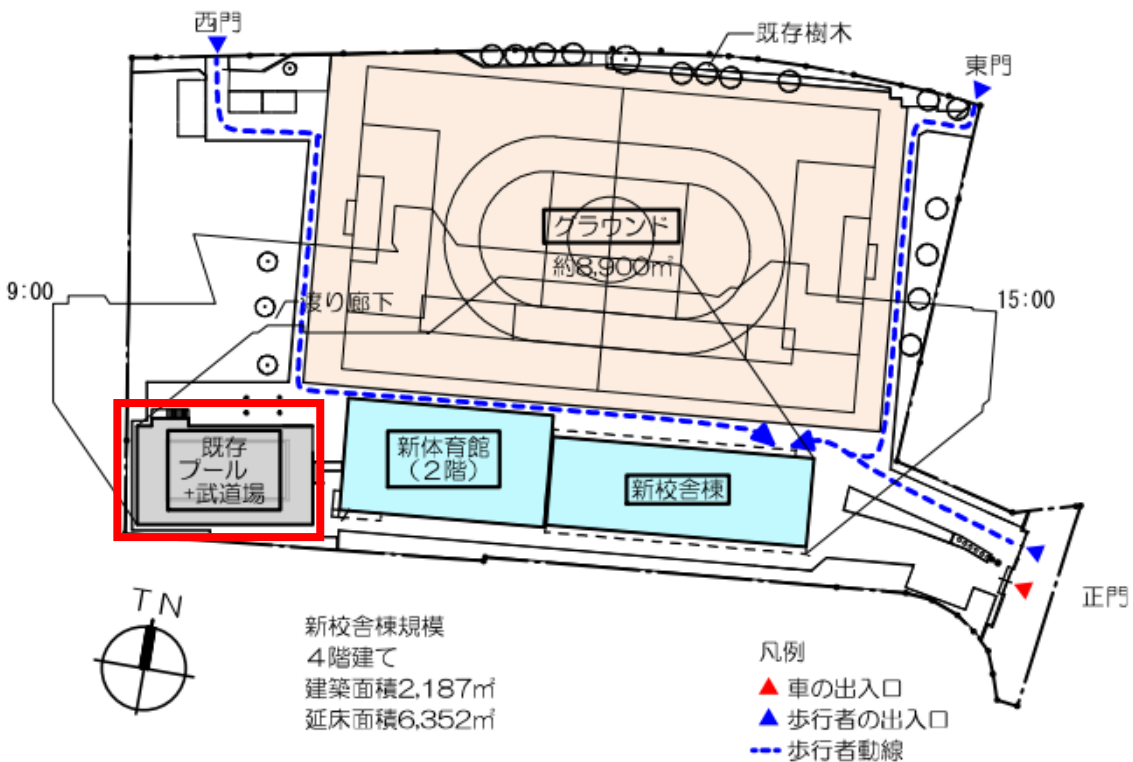
<p>事業の効果 (費用便益分析等)</p>	<p>① 定性的事項について        本事業の実施により、適切な施設を整備することで、生徒の安全・安心及びより良い教育環境を確保することができます。        また、浸水対策として体育館を2階に設置することにより、災害時の避難所の安全性を高めることができます。</p> <p>② コスト削減の取組みについて        仮設校舎を設置しないプランを検討し、コスト削減を図ります。(学校関係者、地域の代表者への説明会でもその方向性について説明しています。)</p> <p>③ 防災面について        本校は地域防災拠点となるため、防災備蓄庫や緊急給水栓、下水直結式仮設トイレ、ヘリサインなどを、標準的に整備します。加えて、地域防災を担当する栄区役所と調整し、災害時の運用が円滑に行われるよう、新たに次の対応を行うこととしています。</p> <p>(1) 災害時に利用可能な蓄電池などの設備の導入        (2) 浸水対策(内水・洪水)として、体育館及び防災備蓄庫を2階に設置        (3) 災害発生時等に児童が一斉移動する際の、事故や混乱が起きない動線の確保(基本設計に申し送り)</p> <p>今後は、設計段階に合わせ、関係区局や地域の意見を踏まえた具体的検討を順次進めます。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>① 「横浜市の公共建築物における環境配慮基準」に基づく整備の実施        低炭素社会に対応した環境への配慮や省エネルギー対策など、横浜市建築物環境配慮制度(CASBEE 横浜)が A ランク以上の水準になるよう設計を進めます。なお、設計の業者選定においても、環境負荷低減策を踏まえたイニシャルコスト削減を考慮している提案書を評価しています。</p> <p>② 木材の利用の促進        本市の公共建築物における木材利用の促進に関する方針を踏まえ、内装等の木質化等を進めます。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>学校関係者、地域の代表者へ事業説明会を行いました。        説明会後は、各団体から「建替えを契機に解決したい地域課題」(書面提出)を募り、地域課題を踏まえた本市の考え方と建替えプラン案を資料送付しました。今後も、設計が進んだ段階で地域への説明会や資料共有を予定しています。</p> <p>説明会:令和4年3月2日(水)        地域課題用紙募集期間:令和4年3月2日(水)~3月31日(木)        回答・建替えプラン案送付:令和4年7月19日(火)</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式とします。</p>

添付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別紙1 校舎配置図</li> <li>・別紙2 ハザードマップ</li> <li>・別紙3 現行の施設と新しい学校の整備水準の比較について（令和3年4月時点）</li> </ul>
参考資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市立小・中学校施設の建替えに関する基本方針（平成29年5月策定）  <a href="https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/esaku/gakko/tatekae/hoshin.html">https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/esaku/gakko/tatekae/hoshin.html</a> </li> </ul>
担当部署	教育委員会事務局教育施設課（TEL 045-671-3531）

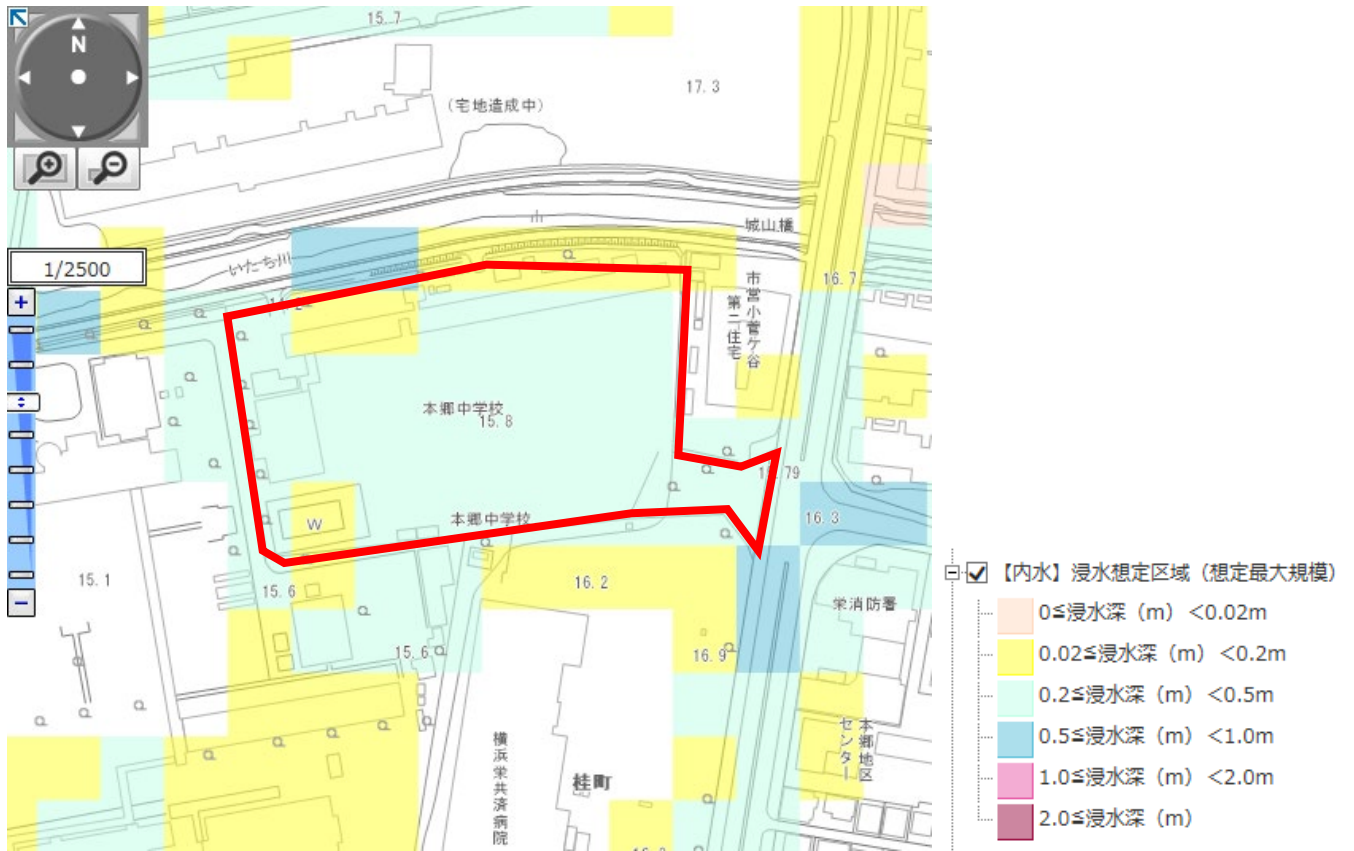
【本郷中学校既存校舎配置図】



【整備イメージ図】



【内水ハザードマップ】 横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (内水) より



【洪水ハザードマップ】 横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ (洪水) より





【土砂災害ハザードマップ】 横浜市行政地図提供システム わいわい防災マップ（土砂災害）より



## 本郷中学校の整備内容等について

種別	室名		整備水準(中学校10CR)		整備前(現況)		整備後(予定)		
			CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (63㎡/CR)	面積 (㎡)	CR数 (64㎡/CR)	面積 (㎡)	
教室	1	普通教室	学級数	/	12.0	756.0	10.0	640.0	▲
	2	個別支援教室	学級数	/	2.0	126.0	2.0	128.0	
	3	特別支援教室	1.0	64.0	1.0	64.8	1.0	64.0	
特別教室	4	理科教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
	5	第二理科室	0.0	0.0	1.0	63.7	/	/	▲
	6	音楽教室	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
	7	第二音楽室	0.0	0.0	2.0	126.0	/	/	▲
	8	家庭科教室	3.5	224.0	0.0	0.0	3.5	224.0	
	9	調理室	0.0	0.0	2.0	126.0	/	/	▲
	10	被服室	0.0	0.0	2.0	127.2	/	/	▲
	11	金工木工室	0.0	0.0	4.0	263.5	/	/	▲
	12	技術教室	2.5	160.0	0.0	0.0	2.5	160.0	
	13	美術教室	2.0	128.0	2.0	127.2	2.0	128.0	
	14	図書室	2.5	160.0	2.0	127.2	2.5	160.0	
	15	視聴覚室	0.0	0.0	1.5	95.7	/	/	▲
	16	コンピューター室	0.0	0.0	1.0	63.7	/	/	▲
	17	教育相談室・耐火書庫	0.5	32.0	1.0	64.5	0.5	32.0	▲
	18	特別活動室	0.5	32.0	0.5	33.0	0.5	32.0	
	19	進路指導室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
多目的室	20	多目的室(集会・発表等)	2.0	128.0	2.0	126.0	2.0	128.0	
	21	多目的室(少人数指導)	3.0	192.0	2.0	126.0	3.0	192.0	
	22	多目的室(学校指定)	3.0	192.0	5.0	318.7	3.0	192.0	▲
管理諸室	23	校長室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	24	職員室	2.5	160.0	2.0	126.0	2.5	160.0	
	25	事務室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	26	保健室	1.0	64.0	1.0	65.9	1.0	64.0	
	27	保健相談室・教材教具室	0.5	32.0	0.5	33.0	0.5	32.0	
	28	放送・スタジオ室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	29	会議室	1.0	64.0	1.0	63.0	1.0	64.0	
	30	印刷室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	31	職員更衣室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	32	技術員室・湯沸室	0.5	32.0	0.5	31.5	0.5	32.0	
	33	休養室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	34	職員・来校者玄関	0.5	32.0	0.5	32.9	0.5	32.0	
	35	変電室	1.0	64.0	0.5	32.9	1.0	64.0	
	36	倉庫	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	37	中学校給食配膳室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	
	38	PTA会議室	0.5	32.0	1.0	64.5	0.5	32.0	▲(武道場棟)
39	地域交流室	0.5	32.0	0.0	0.0	0.5	32.0	(武道場棟)	
その他	40	生徒更衣室	1.5	96.0	0.0	0.0	1.5	96.0	
	41	昇降口	1.0	64.0	1.8	110.0	1.0	64.0	▲
	42	防災備蓄庫	0.0	0.0	1.0	63.0	0.0	0.0	▲(別途設置)
	43	EV	/	1基	/	0基	/	1基	
	44	屋内運動場(アリーナ面積)	/	720.0	/	640.0	/	720.0	
	45	武道場	/	適宜	/	362.0	/	362.0	○
					延床面積	約4,770.0		約4,380.0	
その他	46	共用部(トイレ・廊下・階段等)	/	適宜	/	約2,580.0	/	約2,540.0	
	47	プール(付帯施設面積)	/	適宜	/	約75.0	/	約75.0	○

※面積はおおよそです。

…整備前から増加

▲…整備前から減少

○…継続利用